



新入生歓迎号
Chapel News No.128

大学礼拝

第128号 東北学院大学 2014年4月1日



大学礼拝

宗教部長
佐々木 哲夫

大学礼拝は、聖書が神の言葉として公に語られる時であり、また、東北学院大学が神の前で自らの本質的意義を再確認する時です。「礼拝から出発して礼拝に帰る」が東北学院の基本姿勢です。それゆえ、余った時間でなく一番良い時間を礼拝に捧げています。大学礼拝の概要についてご紹介します。

チャイムが礼拝の時を告げると礼拝堂からオルガン前奏の音が響いてきます。礼拝堂の最前列から順に着席して下さい。毎日行われている礼拝の始まりです。心を静め礼拝司会者の言葉に耳を傾けて下さい。

〈讚美歌〉礼拝参加者(会衆)が讚美歌を歌うようになったのは、ルターの宗教改革からです。それ以前は聖職者だけの特権でした。讚美歌の歌詞を味わいながら声高らかに歌って下さい。

〈聖書〉 聖書の構成は、前半四分の三が旧約聖書、後半四分の一が新約聖書です。それぞれに頁数が付されており、例えば、五〇頁の場合、旧約聖書か新約聖書かを指定しなければなりません。旧約聖書の言語はヘブル語、新約聖書はギリシヤ語です。諸国の言葉に訳され、礼拝に使用されるようになるのは、宗教改革以降のことです。日本語訳の聖書の普及は近代のことです。

〈説教〉 神の言葉がこの世に対して公に宣言される時です。話し手の経験や思想を披露する講演と根本的に違います。聖書の言葉は、歩むべき道を照らしだすともしびれとして私たちに臨みます。特に重要なことは、イエスキリストの十字架に表わされた神の愛や救い(福音)が告知されることです。

〈祈り〉 礼拝司会者は、説教の言葉だけでなく、神の恵みや平安や祈りを執り成します。祈りの最後の「アーメン」は、英語やギリシヤ語やヘブル語に共通して見出される言葉で「真実です」の意味です。祈りを共有するしるしとして、会衆の皆さんも最後に「アーメン」と唱和して下さい。

〈頌栄〉 神の栄光をたたえる短い讚美歌です。頌栄の後、黙祷を捧げます。オルガン後奏は「派遣」の意を込めて皆さんの退場時に奏します。

新入生の皆さんへ

先輩たちに自由に語ってもらいました。

— 新入生のこれからの大学生活のため、上級生の皆さんからアドバイスしてもらいたいと願い、泉キャンパスの小礼拝堂に集まってもらいました。今日は、大学生活や礼拝のことなど日ごろ思っていることを四人に話していただきますよ。

自由で、楽しい大学生活

佐藤 わたしは大学生活をすでに三年間送っていますが、東北学院大学の魅力は、自由で束縛がないという印象をもっています。単位を取るとか必要なことはありますが、全体的には楽しく過ごしています。礼拝も週に数回出席しますが、その都度先生方が様々な話をされるので興味深く、音楽礼拝などもあり、趣向を凝らしていると思います。

遠藤 わたしも大学の印象は自由だと

感じています。キリスト教に触れたのは初めてですが、礼拝堂でオルガンを見た時、その印象は強烈でした。音楽は好きで、ピアノを習ったことがあるので、オルガンの音にしばし魅了されました。大学生活は自由ですが、自由だからこそ、自分から積極的に行動しないと何も始まらないということにも気づきました。そこで、いつも自分から行動しようと思がけています。

一同 そう、自由で、つい怠けてしまうし。長島 大学礼拝では、聖書を丁寧に読み明かしてくれるので、ここはこつ読むのか、こういうふうには理解すれば良いのかなど、とてもためになると思っています。特にボランティア活動をしているので、聖書の教えが活動の支えになることもあります。皆さんが「自由」を言われていますが、私も、自分から積極的に行動することを大切にしています。

土田 高校は公立だったのですが、わたしは、キリスト教の雰囲気には親しんでいるので、大学でのキリスト教の礼拝や講義など、違和感なく受け込みました。特に、聖書の説き明かしや讃美歌を歌うことなど、心が落ち着く一時です。

— 大学は自由だからこそ積極的に行動しようという意見が多く出しましたが、他に心掛けていることはありますか。

後悔しないために 後悔してもなお

佐藤 誰でも後悔することがありますが、後でよくよくするよりはもつと行動するほうを大切にしたいです。

土田 わたしは若いうちに苦勞し、後悔することも多く体験してもいいかなと思っています。再出発できると思っていますので。

遠藤 毎日すこしずつ積み重ねることも大切だと思います。特に普段の小さな取り組みが実際の時に役立ちます。

— なるほど、皆さんそれぞれの考えをもってしっかりと行動しているようですね。ところで、先輩たちにおすすめることができる「本」についてはいかがですか。

遠藤 朝井リョウ『もういちど生まれる』は面白かったです。他に森見登美彦の小説も大学生が主人公でおすすめです。

長島 九州でホームレスの支援をしている牧師の奥田知志『もう、一人にさせない』や内山節『ローカリズム原論—新しい共同体をデザインする』などもコミュニケーションやつながりという点で考えさせられます。

土田 有川浩『レインツリーの国』とか藤沢周平『蝉しぐれ』がよかったです。

佐藤 「ナルニア国ものがたり」シリーズは物語としてもおもしろく、聖書の言葉も時々引用されていますね。



— 最後に、大学の講義についてもひとことお願いします。

一同 どの講義にも先生たちの教え方の特徴や試験の傾向があるので、情報集めは大切です。

— なるほど、実践的な面でもぬかりないですね。

皆さん、今日は取材協力、ありがとうございます。

佐藤さん(教養学部四年)

遠藤さん(工学部三年)

長島君 (教養学部三年)

土田君 (文学部三年)

(文面は短く編集しました。野村)

泉キャンパス

大学宗教主任
野村 信



新入生のみなさん、東北学院大学へご入学おめでとうございます。喜んでいらっしゃる人も、不安な気持ちを抱えている人も、みな同じキャンパスの中で、一緒にスタートを切りました。大学生活を大いに楽しみ、充実させるためにも、この十分に備え、将来を見つめて過ごしましょう。一カ月もすると軌道に乗り出し、自分のペースをしっかりとつかめるようになりますから、今を特に大切にしてください。

大学で講義が行われている期間は毎朝、各キャンパスで礼拝が行われます。この時間を心にとめて礼拝に出席するように努めましょう。毎回説かれる聖書の教えから生きる意味や知恵を学び、何よりも私たちが神によって守られ導かれていることを喜び、心から讃美を捧げて過ごしましょう。

私たち宗教部のスタッフはいつも礼拝中、後部の座席に座っていますので、どんなことでも自由に尋ねてください。

土樋キャンパス

大学宗教主任
原口 尚彰



東日本大震災から三年余が過ぎました。東北地方は復旧・復興の途上にあります。原発事故の処理は終結せず、周辺住民の帰還の見通しは立っていません。震災後、人間の絆が強調される一方で、愛国心が高まり、近隣国との領土問題や歴史問題をめぐる対立の深まりから、排外的な風潮が国内に蔓延しています。

本学では、毎日一校時目と二校時目の間の時間を礼拝の時間にあてています。礼拝の時は、勉強や仕事から一時離れ、聖書の言葉に耳を傾け、共に祈り、共に讃美を捧げることによって、心を落ち着け、自らの営みを反省する貴重な機会となっています。聖書の言葉は、個々の魂を養う糧を与えると共に、人間の営みや歴史の歩みを冷静に見つめる視点を与えてくれます。私たちがみ言葉に養われて、歴史に対する適切な認識を持ち、御心に適った行動を取ることが出来るように願っています。

多賀城キャンパス

大学宗教主任
原田 浩司



二〇二四年度が新たに始まりました。新入生の皆さんにとっては「東北学院大学の大学生」としての新しい歩みの始まりとなります。皆さんが学ぶこの大学は「福音主義キリスト教の精神」に基づく人格形成と人間教育を建学の精神としています。したがって、工学部の多賀城キャンパスで学ぶ理科学系のみならず、この東北学院大学の学生のひとりとして、キリスト教の理解を深める学びをはじめます。

こうして始まった新しい一年も必ず終わりの時がきます。そして、大学での学生生活も数年後には必ず終わりの時が来ます。はじまりを迎えた今、「終わりの時」を見据えることは意義があります。学生時代は皆さんの人生の中で取り返せない貴重な時期です。一人ひとりがこの限りある学生生活の中で、今なすべきこと、今しかできないことなどを見極めながら、充実した学生生活を送ってほしいと思います。

第9回「学生のためのオルガン公開講座」のお知らせ



大学オルガニスト
今井 奈緒子

この講座は、礼拝の楽器として用いられているオルガンに親しみ、演奏することを目的としています。専門家である本学の礼拝オルガニストが、各キャンパス礼拝堂のオルガンを用いて指導します。単位に関係のない講座ですので、卒業まで継続して受講することも可能です。受講場所も開講時間に合わせて、希望のキャンパスで受講することができます。

◆受講資格

・楽譜を読むことができ、鍵盤楽器の演奏に多少なりとも心得があること
・レッスン、練習に励む意思のあること

◆対象

本学に在籍する学生(所属学部、学部生・大学院生を問わず)

◆内容

オルガンの奏法と作品を学ぶ(個人またはグループレッスン形式)
ガイダンスと修了演奏会を実施します。
◆場所
土樋・多賀城・泉、各キャンパス礼拝堂

◆受講料 年間二五、〇〇〇円

◆期間

五月〜十二月(レッスンは月二回ペースで実施。その他自主練習、演奏会準備)

◆募集人数

各キャンパスにつき若干名

◆講師

小野なおみ

(礼拝オルガニスト)

今井奈緒子

(教養学部教授、大学オルガニスト)

◆ガイダンス開催日

受講希望者は所属キャンパスに拘わらず、五月八日(木)二六時に、泉キャンパス音楽研究室(礼拝堂一階)の前へ集まってください。ガイダンスの後に受講の意思確認をし、講師との顔合わせ、レッスンの相談、調整等を行います。

出席不可能な場合は事前に宗教音楽研究所までご連絡ください(022-375-1185)。なお、希望者多数の場合は相談、抽選ないし後日オーディションをさせていただきます場合があります。

宗教部

聖歌隊

へのお誘い

本学には幾つかの公認の合唱団があります。聖歌隊は、大学宗教部に属する団体です。活動内容は、主に大学礼拝の中で、年に数回予定されている讃美歌において讃美歌を合唱することです。その他に定期演奏会やクリスマスにメサイアを歌うなどの楽しい行事があります。

讃美歌を歌った経験のない人でも、志のある方、歌うことの好きな方は大歓迎です。

なお、泉キャンパスでの活動が中心になります。関心のある人は礼拝堂の一階の音楽研究室で詳細を尋ねてください。

編集後記

新入生の皆さん、緑の広がる両キャンパスで良く学び、語り、楽しい大学生活を送ってください。毎日行われる大学礼拝への出席を大切に、心の養いをしてください。おそろく今まで体験したことのない貴重な時になると思います。なお、今夏の八月四日〜六日に開かれるサマー・カレッジでは、「支倉常長」を主題にします。

詳細は礼拝堂の入り口に七月初旬にチラシを準備しますので、それをご覧ください。希望者は誰でも参加できます。

二〇一四年四月一日

東北学院大学宗教部
編集者 野村信
千九八〇一八五一
仙台市青葉区土樋丁目三番号

2014年度 礼拝オルガニストの皆さん

●東北学院大学オルガニスト●
今井 奈緒子

●東北学院大学礼拝オルガニスト●
阿部 和子 大泉 真理
小野 なおみ 加藤 晶子
亀井 睦子 京極 扶美恵
坂上 芙美恵 佐々木しのぶ
菅原 淑子 長谷部真理子
日野 百合子 渡 辺 真

